

発行日 2025年7月15日
発行人 田辺 証夫
編集人 小堀 日出春

VOICE

NO. 139

LMI世界宣教会
LMJapan
振替 00110-1-91993

LMI世界宣教会はリーベンゼラ・ミッション・インターナショナル（LMI）に加盟している日本の宣教団体です。

NY 35年の宣教に一時幕

LMI（リーベンゼラ）世界宣教会理事長
田辺 証夫

日頃よりLMI世界宣教会（以下LMJ）のためにお祈りとご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび、理事会より皆様に大切なご報告が二つございます。一つ目は、笹川雅弘・由利子宣教師ご夫妻による現地での活動の終了について、もう一つは、近藤恵医療宣教師によるバングラデシュでの医療奉仕の終了についてです。

笹川宣教師ご夫妻は、2021年よりLMJ宣教師として派遣され、尊いご奉仕に励んでこられました。止まらない円安、アメリカ国内における記録的な物価高、ビザやグリーンカードの発給困難などの状況を踏まえ、2025年6月末をもって現地での奉仕を終了し、本帰国することが主のみこころであると確信するに至りました。また、笹川先生のご報告にもあるように、リッジウェイ教会がジャパニーズ・ミニストリーの活動を終了する決定をし、2025年6月末をもってNYめぐみ教会も閉じることとなりました。

1990年にLMI世界宣教会の前身であるリーベンゼラ・キリスト教会連合海外宣教委員会より、近藤泉・美貴子宣教師ご夫妻が北米邦人宣教のために派遣されて以来、立石尚志・聖美宣教師ご夫妻、笹川宣教師ご夫妻へとその働きは引き継がれてきました。しかし、現在この働きを担う後任の宣教師を派遣する見通しが立たない現実、理事会としても極めて重く受け止めております。それでも、宣教の主である神は、これまで遣わされた宣教師たちの尊い働きを通して蒔かれた福音の種を、世界の広い地で実を結ばせてくださいました。また、立石宣教師の時代に始められたゴスペル伝道も、現地のクリスチャンである兄弟姉妹へと確かに引き継がれています。笹川宣教師ご夫妻は帰国後来年3月まで、これまで支えてくださった諸教会を訪問し、感謝のご報告をさせていただきたいと願っております。ぜひお招きくださいますよう、お願い申し上げます。

バングラデシュも引き揚げ

2007年以来派遣してきた近藤恵医療宣教師につきましては、バングラデシュの政権交代という混乱の中で、主



ブルックリンの黒人教会でゴスペルを披露し、聴衆に感動を与えたNYめぐみ教会のゴスペルクワイア＝2024年5月31日

のみこころを祈り求めつつNビザの発給を待っておりますが、それが極めて困難であることが判明しました。Dr. ルーシーをはじめ、これまで共に働いてくださったジョイランクーラ・クリスチャン・ホスピタルの皆様も、近藤宣教師の再訪を心待ちにしておりましたが、今回の状況を主のみこころとして受け止め、新たな働き之道を祈り求めていくこととなりました。笹川宣教師ご夫妻と同様に、感謝と証しを込めたデピュテーションを来年3月まで予定しておりますので、ぜひお招きください。

宣教の灯 消さず 「宣教師発掘、進める」

このような厳しい現実にも否応なく向き合わされる中で、私の心に響いてきたのはハガイ書の御言葉でした。「万軍の主はこう仰せられる。あなたがたの現状をよく考えよ」（1:7、新改訳第三版）。今私たちの眼前にあるのは、世界情勢の変化だけではなく、天地万物を造られた万軍の主の御手による主権的なご支配です。これまでLMJに与えられてきた主の豊かな恵みに感謝しつつ、また悔い改めるべきことを悔い改めながら、「仕事にとりかかれ。わたしがあなたがたとともにいるからだ」（2:4）という約束に支えられた命令が与えられその時まで、LMIとの連携を保ちつつ、働き of 啓発と新たな宣教師の召命・発掘のために祈りつつ励んでまいります。皆様におかれましては、今後とも変わらぬお祈りとご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

（みなみ野キリスト教会牧師）

New York Report

春のゴスペルコンサート

NYめぐみ教会最後の宣教イベントとなった春のゴスペルワークショップには、大人33名、子ども21名が参加して毎週教会で練習を行い、毎回大人も子どももバイブルメッセージに耳を傾けました。練習の成果を披露する「春のゴスペルコンサート」は5月17日（土）に行われ、180名以上の入場者とともに主を賛美する感動を分かち合いました。コンサートのメッセージでは天に国籍を持つ者としての歩みへの招きが行われました。

牧師夫妻の派遣式

6月22日（日）にNYめぐみ教会最後の主日礼拝が行われた後、牧師夫妻の派遣式が行われました。今までは帰国する教会員を牧師が祈りとともに送り出すという形で派遣式が行われてきましたが、今回は、信徒たちの祈りとともに牧師夫妻である私たちが送り出されることになりました。

笹川宣教師の帰国後の教会訪問

私たちは7月3日に帰国した後、これまでご支援いただいた諸教会への感謝と証しのデピュテーションを来年3月まで行います。お招きいただける教会はぜひ笹川まで直接ご連絡ください。

★連絡先：msasakawa777@gmail.com

7月以降の教会活動について

この間、私たちの後任者が与えられるよう多くの祈りが捧げられてきました。こうした中、リッジウェイ教会に昨年赴任した主任牧師は着任以来、教会の組織をよりシンプルにするという機構改革に取り組み、私たちの帰国と後任者未定という状況を契機にリッジウェイ教会のJapanese Ministryとして行われてきたNYめぐみ教会の活動を6月末で終了する決定をしました。この決定に従いNYめぐみ教会は6月末をもってリッジウェイ

笹川雅弘宣教師を支える会（かもい聖書教会）

電話：045-931-3312

Mail: kimikumall26@gmail.com

HP: <https://nymissionsasakawa.wixsite.com/support>

ニューヨーク周辺邦人宣教・宣教師 笹川雅弘・由利子



④180人以上の聴衆を前に心からの賛美を届け、コンサートの成功を喜ぶ出演者たち ⑤NYめぐみ教会の最後の主日礼拝後、記念撮影する教会員たち



イ教会の邦人宣教部門としての活動を終了することになりました。

教会員と相談した結果、NYめぐみ教会は今後、メンバーの邦人宣教活動および互いの交流については試行錯誤を繰り返しながら最善の形を検討していくことになりました。

信徒たちの日本人宣教への意欲は衰えておらず、ゴスペル伝道は引き続き、アメリカ人指導者と協力して継続していく予定です。7月以降の信徒たちの宣教活動を私たち夫婦は日本からあらゆる形で支援していく予定です。どうか皆様には引き続きNY周辺邦人宣教のためにお祈りとご支援をよろしくお願いいたします。

【祈りの課題】

- これまでNYめぐみ教会の宣教活動を通して多くの求道者の上に蒔かれた福音の種が時満ちて信仰となって実を結ぶように。
- 日本人宣教師不在となった後もNYめぐみ教会員および現地のクリスチャンたちが日本人宣教のために行う活動が実りあるものになるように。
- 笹川雅弘宣教師の帰国後の教会訪問が祝福され主のみわざの証しとして用いられるように。

ニューヨーク周辺邦人宣教・前宣教師 立石 尚志

あの時、 主の御声が...

主ご自身がどのように私たちにかかわってくださったか、二つの事例をもってお証しさせていただきます。

1998年1月 LMJ理事会

私は1992年4月、かもい聖書教会への新任牧師就任と同時に「リーベンゼラ・キリスト教会連合海外宣教委員会」から転身した「LMI世界宣教会」に理事として加わりました。そこで近藤泉・美貴子宣教師との出会いが与えられ、在外邦人宣教の必要を知らされました。近藤先生ご一家は1998年、2期目の宣教を終え、半年間、帰国報告されることになっていましたが、留守番牧師が見つからず、グリニッチ福音キリスト教会では文字通り「涙の祈り」が捧げられていました。

そのような中、1998年1月、理事会の最中に私は突然、聖霊なる神から「あなたが行きなさい」という強い促しを受けました。考えたこともないことであり、あまりに唐突でしたので席を外し、電話で妻に促しについて伝えますと「私には平安があるわよ」との応答。教会の役員会に相談しますと「先生、ぜひ行ってきてください」との答えが返って来たのです。

かもい聖書教会は1998年6月から12月、給与のみならず航空券までも負担して下さり、6か月の息子恵利也を連れ、私たちは半年間、留守番牧師を務めさせていただきました。NYではかもい聖書教会で使っていた「聖書を読む会」の手引きを用いたグループ聖研を導入させて



長男恵利也君を抱える立石師(中央)。左は聖美夫人、右は近藤夫妻、左端は八田夫妻＝1998年、ニューヨークで

New York, Then

いただき、充実した半年を過ごしました。帰国に当たっては、妻としみじみ「楽しかったね。でも、もうここに戻って来ることはないよね」と語り合っていました。

しかし主はその後、私たちを宣教師として召し、かもい聖書教会も派遣教会として立ち上がって下さり、私たちは2002年4月から1年間のデピュテーションを経て、2003年5月にNYに着任、2020年7月までの4期17年、働きを継続させて下さり、2021年1月に笹川先生ご夫妻への引き渡しまではオンラインで教会をフォローさせていただくことになったのでした。

2014年10月 ゴスペルとの出会い

グリニッチでの働きでは、クリスマスやイースター、夏期子供キャンプ等々、多くの駐在員家族に福音を届ける働きは続けられていましたが、どうしても打ち上げ花火的な伝道イベントという域を越えられませんでした。聖研グループが充実していた永住メンバー中心のハートフォード集会(150km/車で1時間30分)やサラトガ集会(300km/車で2時間50分)に比べ、ニューヨーク都市部近郊の駐在員たちは常に帰国を念頭に、子供の教育、旅行の計画、他の駐在員とのお付き合い等々で頭も心も、スケジュールも一杯であり、なかなか彼らの世界に切り込んで行けないもどかしさを感じていました。主はそんな私たち「これを用いなさい」とゴスペル・ミニストリーを預けてくださったのです。大人にも子供にも継続的に関わり続け、福音は英語と日本語で歌と言葉で届けられていくこの働きはまさに天来の働き以外の何物でもありませんでした。



クワイアのメンバーにもなった立石師(前列左から3人目)
＝2019年12月21日、ニューヨークで、

「働き人を起こしてください」

日米関係が健全に続く限り、ニューヨーク都市部はなお、駐在員宣教で多くの実を結びうる地域です。主ご自身が新しい働き人を起こして下さることを祈っています。
(LMJ協力理事・松見ヶ丘キリスト教会牧師)

「ですから今、それをやり遂げなさい」

バングラデシュ医療宣教師 近藤 恵

あっという間に梅雨が明け、酷暑に見舞われているところが多いかと思います。お元気でお過ごしでしょうか？

前回、ビザの延長は難しいということを書きました。それでも主が、バングラデシュの働きの門を本当に閉じられたのだろうかということに疑問を持ち、他の方法をさがっていました。



まず、ツーリストビザで働きを継続するという路線。「ビザがなくては、働きを閉じざるを得ない」とジョイランクーラ・クリスチャンホスピタルのドクター・ルーシーにメールしたところ、「ツーリストビザで年に3か月働くのはどう？」と返事が来、困惑したものの、確かにありうるかもしれないと思い始めたのです。でも、このアイデアに関する意見を色々な人に聞いてみたところ、「ツーリストビザで働くのは、何かあった時にまずい状況になる」ということで一致していました。それでも納得できない私は、最後に日本のバングラデシュ大使館に行きました。その日の朝「ですから今、それをやり遂げなさい。喜んでしようと思ったとおりに、持っているものでやり遂げてください」

(Ⅱコリント 8:11) に勇気づけられ、何かポジティブなことを言ってくれるかもしれないと期待を持って行ったのです。結果は、「ツーリストビザは働くためのビザではありません」とあっさりと言われました。当然の返答です。やはり主はバングラデシュでの働きの門は閉じられたのだと思いました。

でもさきほどのみことばがどうしても引っかかります。考えているうちに、「カナダのトロントにいるバ

ングラデシュ人の中で働くのはどうだろう？」と思い始めました。トロントには、たくさんのバングラデシュ移民がいます。その方々の間で働いているLMJの宣教師もいます。私が英語の勉強のためにトロントにいた時、お世話になった方です。もちろんカナダで医師として働くのは、ライセンスがないのでできません。でも健康相談くらいはできるかも？と思いました。このアイデアに関して、LMJのカナダの人たちに意見を聞きました。結果は、やはりビザの問題、経済的な問題など様々な難しい点があり、現時点では可能性は低そうでした。

6月9日のLMJの理事会で、トロントのアイデアを相談したところ、「神学的な学びをしてからの方が、大きく用いられるのではないか」という意見がありました。確かにそうかもしれません。そこで、私の次のステップは、来年の春から学びをすること（神学校の聴講生としてです。）となりました。トロントのアイデアはいったん保留して、学びつつ、主の導きを待とうと思います。

バングラデシュでの働きを長い間支援していただき、本当にありがとうございました。8月から各教会を訪問させていただきます。お会いするのを楽しみにしています。

「まだまだやることがある。 バングラに新たな宣教師を！」

最後に、LMJはバングラデシュでの宣教をやめたわけではありません。私はビザが延長できませんでした。が、医療宣教師も普通の宣教師も、まだまだやることはたくさんあります。お一人お一人、どうぞ主の導きに耳を傾けてください。

【祈りの課題】

- デピュテーションが祝福されるように。
- ジョイランクーラ・ホスピタルのために。
- 新たな歩みのために。
- 無牧の自治医大前キリスト教会のために。
- 一人暮らしの母と姉の救いのために。

【近藤恵医療宣教師を支える会】

〒329-0403 栃木県下野市医大前3-7-1

☎0285-44-7564 自治医大前キリスト教会気付

E-mail: meg0_02007@yahoo.co.jp

